

令和元年度 決算報告

法人単位資金収支計算書
(自)平成31年 4月 1日 (至)令和 2年 3月31日

法人単位事業活動計算書
(自)平成31年 4月 1日 (至)令和 2年 3月31日

(単位:円)

(単位:円)

勘定科目	決算(B)
に事業収入	
就労支援事業収入	2,717,071
障害福祉サービス等事業収入	89,776,790
経常経費寄附金収入	13,000
受取利息配当金収入	5,341
その他の収入	89,182
事業活動収入計(1)	92,595,384
に事業支出	
人件費支出	65,402,704
事業費支出	13,821,240
事務費支出	5,239,466
就労支援事業支出	2,866,587
支払利息支出	109,672
事業活動支出計(2)	87,439,669
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	5,155,715
に施設整備収入	
施設整備等収入計(4)	
設備資金借入金元金償還支出	1,320,000
固定資産取得支出	626,634
施設整備等支出計(5)	1,946,634
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△1,946,634
に活その他収入	
その他の活動収入計(7)	
に活その他支出	
その他の活動支出計(8)	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	
予備費支出(10)	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	3,215,081
前期末支払資金残高(12)	28,566,128
当期末支払資金残高(13)=(11)+(12)	31,781,209

勘定科目	当年度決算(A)
増収	
就労支援事業収益	2,717,071
障害福祉サービス等事業収益	89,776,790
経常経費寄附金収益	13,000
サービス活動収益計(1)	92,506,861
減収	
人件費	65,402,704
事業費	13,821,240
事務費	5,239,466
就労支援事業費用	2,866,587
減価償却費	1,626,560
国庫補助金等特別積立金取崩額	△726,611
サービス活動費用計(2)	88,229,946
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	4,276,915
増収	
受取利息配当金収益	5,341
その他のサービス活動外収益	89,182
サービス活動外収益計(4)	88,523
減収	
支払利息	109,672
サービス活動外費用計(5)	109,672
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	△21,149
経常増減差額(7)=(3)+(6)	4,255,766
増収	
施設整備等補助金収益	
その他の特別収益	9,960,000
特別収益計(8)	9,960,000
減収	
固定資産売却損・処分損	
国庫補助金等特別積立金積立額	
その他の特別損失	9,700,000
特別費用計(9)	9,700,000
特別増減差額(10)=(8)-(9)	260,000
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	4,521,766
増減	
前期繰越活動増減差額(12)	24,148,729
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	28,670,495
差	
基本金取崩額(14)	
その他の積立金取崩額(15)	
その他の積立金積立額(16)	
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	28,670,495

法人単位貸借対照表
令和 2年 3月31日現在

(単位:円)

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増 減	勘定科目	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	42,754,314	38,557,059	4,197,255	流動負債	12,299,105	9,990,991	2,308,114
固定資産	29,188,581	23,928,507	△5,260,026	固定負債	10,880,000	13,020,000	△2,140,000
〈基本財産〉	16,716,904	16,867,864	△150,960	負債の部合計	22,679,105	23,010,991	△331,886
〈その他の固定資産〉	6,471,677	7,060,643	△588,966	純 資 産 の 部			
資産の部合計	65,942,895	62,485,566	3,457,329	基本金	10,041,044	10,041,044	
				国庫補助金等特別積立金	1,785,056	2,461,667	△676,611
				その他の積立金	2,823,195	2,823,195	
				次期繰越活動増減差額	28,670,495	24,148,729	4,521,766
				純資産の部合計	43,269,790	39,474,635	3,795,155
				負債及び純資産の部合計	65,942,895	62,485,566	3,457,329

編集後記

令和 2 年度の法人の取り組みが、明るく楽しいものになりますことを願っています。次号 (1 月発行予定) では利用者様の活動の話題が多くなりますように・・・
文責：津浦

社会福祉法人 緑樹福祉会

第 3 号 令和 2 年 7 月

緑樹福祉会だより

赤穂市大津 1041

TEL 0791-45-2240

FAX 0791-56-9000

http://www.ryokuju-fukushi.com/

理事長挨拶

理事長 三村佳壽子

日頃より当法人へのご指導、ご支援を賜り感謝申し上げます。
まず初めに、新型コロナウイルスに感染しお亡くなりになられた方々にお悔やみ申し上げますと共に、一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と皆さまのご健康をお祈りいたします。

当法人の各事業所は感染防止対策を講じ休園することなく、サービス提供させていただいております。

しかしながら毎年行われておりましたバーベキュー大会、ばんたん親善運動会、ゆうあい文化祭、バス旅行など多くの行事が中止となり、年度当初の事業計画を見直して参ります。

先日、理事会、評議員会において令和元年度の事業報告、決算報告、監査報告をさせていただき、了承をいただきました。いくつかの課題のご指摘をいただきましたので、解消できるよう努めて参ります

また、サービス向上委員会に於きましては委員より利用者様からのご意見、ご要望を出していただきました。ご意見ご要望を真摯に受け止め職員とともにより良いサービス提供に取り組んで参ります。

中期目標のグループホーム建設に関しましては、補助金の内示通知書をいただきました。

これより、グループホーム設立委員、家族会、手をつなぐ育成会の皆様のご意見をいただきながら令和 3 年 3 月開所に向け邁進させていただきます。

社会福祉法人としての社会への貢献を忘れることなく地域の皆様に喜んでいただけることを念頭に置き、利用者様、職員の笑顔があふれる施設運営を進めて参ります。

今後とも、皆様方のご支援ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。



令和元年度 法人事業報告

年度後半に新型コロナウイルスの感染の影響で、各事業所の行事の中止や活動の変更を余儀なくされましたが、概ね事業計画をこなすことができました。

わかば園では、播但地区の施設との交流「ばんたん親善運動会 (5 月 31 日於加古川運動公園)、「ばんたん・ゆうあい文化祭」(11 月 22 日於姫路文化センター)に参加しました。生活介護の利用者さんは、曜日毎の活動でカラオケ、本読み、買い物等を楽しんでおられます。就労継続 B 型の利用者さんは、請負作業等に熱心に取り組まれています。仕事減で平均工賃額の減少が気になります。

ぷくぷくほーむ (短期入所事業・日中一時支援事業) では、毎日定員をほぼ満たすご利用を頂き、安定した運営ができました。

てくてく (放課後等デイサービス事業) では、定員 10 名の利用があり、新型コロナウイルスで特別支援学校が休校になってからは、長期休暇中と同じ利用時間 10 時から 4 時となり。多忙な日々になりました。

法人としては、事業収支は 322 万円の黒字でした。収入は 9,259 万円 (予算に対して 64 万円増、前年度より 161 万円増) でした。支出は 8,743 万円 (予算に対して 395 万円増、前年度より 320 万円減) でした。

収入に対して人件費の割合が 70.6%あります。この割合を減らし、事業活動に少しでも多く回せるようにすることが課題です。一方職員の支援力量 UP も課題です。利用者様の園での豊かな生活を確保するための基本になると考えるからです。

新年度（2020年）は、新型コロナウイルスの感染防止の「三密」を避ける対応でバタバタする日々で始まり
ました。

行事の中止等ありましたが、混乱もなんとか想定内で治まっています。

特に送迎車輦内での「三密」を少しでも回避するために、保護者の方の送迎にご協力を頂きましたこと、感
謝申し上げます。

さて、今年度の利用者契約状況は、生活介護は新卒の利用者1名を加え、25名、就労継続支援Bは14名です。
日々の平均利用者数は、生活介護約14名、就労継続支援B約13名です。

<残念な行事の中止>

年度末、年度初めの各協議会等の総会が中止され、書面決議が行われる状況でした。

兵庫県知的障害者施設協会の播但地区行事である、第32回「ばんたん親善運動会」（5月29日予定）、第29
回「ばんたん・ゆうあい文化祭」（11月20日予定）も中止となりました。

園内行事では、お花見会（4月予定）、バーベキュー大会（6月予定）も中止にしました。

日々の園内活動では、車の利用で行う活動・ドライブ、外食マナー、買い物等は中止してきました。

それも7月からほぼ正常の生活を再開する予定にしております。

喜ばしいご報告は、社会福祉法人清水基金から助成金を頂き、送迎車輦として日産キャラバンを購入しまし
た。早速、新車で送迎を行っております。感謝申し上げます。



ばいろうと（相談支援）

相談支援専門員 前田康裕

新型コロナウイルスの影響も少し落ち着きを見せたと思っていた所、また少しずつ東京を中心にじわじわと
広がりを見せつつある状況で、まだまだ油断の出来ない日々ではありますが、一日も早い終息を願うばかりで
ございます。

皆様には、日頃よりご協力を賜り、誠にありがとうございます。

このコロナ禍の中で、相談支援専門員として、利用者様の日々の様子が確認しにくいという状況を、H31年4
月の開設以来初めて経験する事となり、電話等で様子の確認をさせていただいておりましたが、6月に入り、各
施設様のご協力のもと、最善の注意を払った上で福祉サービスの提供を受けられている現場を見させていただ
く事を再開いたしました。

数か月ぶりに見学させていただいた利用者様の顔は、以前とは違った雰囲気がありました。また、落ち着い
た様子で活動に取り組んでおられました。今まで出来なかった事が出来るようになっていたり、逆に、自粛期
間、福祉サービスを受けられず、出来ていた事が出来なくなっていたりと様々で、改めて利用者様に合った適
切な支援の大切さを再認識しております。

また、先日機会があり、利用者様の通園する幼稚園を見学させていただきました。福祉サービスを受けてい
る施設とは違う環境での様子を見させていただくと、集中して話が聞けなかったり、自分の世界に入るなど、
いつも見ている利用者様とは違う場面が見られました。

環境や支援する側の考え方等で利用者様の様子に違いが出るという事を痛感いたしました。

相談支援専門員として、ご家族並びに各関係機関との連携を図り、それぞれが共通理解を持って支援する事
が出来るようお手伝いしていきたいと思っております。

梅雨入りし蒸し暑い日が続く中、保護者の方々におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。本年に入っ
てからも弊所の活動に並々ならぬご協力ご理解を頂き誠にありがとうございます。

本年初頭より新型コロナウイルスの影響で、全国各地で各産業の休業や公立学校の休校が続く中、事業所と
いたしましても感染を防ぐべく所内の消毒をはじめ、来所頂いている利用者様には三密を避ける為の距離間や
不要の接触、マスク着用等を徹底してまいりました。

保護者様方には三密を防ぐ為の自粛、来所時間の調整、又ご家庭での送迎もご協力いただき誠にありがとう
ございました。自粛して頂いた利用者様には、電話でご家庭での過ごし方を確認したり、活動内容の動画配信
もさせていただきました。

緊急事態宣言も解除となりましたが、全国各地ではまだまだ感染者が後を絶たない状況が続いております。
6月からは本格的に学校もスタートし、待機されていた利用者様が来所され普段の明るい顔ぶれに戻りまし
たが、より三密の機会も増える為、まだまだ油断は出来ない状態が続きます。引き続き感染防止の対応の徹底
をしてまいります。

また梅雨が明けますと本格的な夏に入り、熱中症の防止の為、園外での活動の控えや水分補給を常時行うな
ど対策も行い、園内で利用者様がより楽しめるような活動を提供していきたいと思っております。

休校が長期化した分だけ、心身のリズムも中々戻らない利用者様もまだまだいらっしゃると思っております。
焦りを持たせることなく一人一人の個性に合わせ、健やかな生活や成長の為、我々職員一同より一層取り
組んで参りたいと思っております。

今後とも益々のご協力いただきますよう、何卒宜しくお願い致します。



昔遊び コップ相撲



遊びの時間 オセロ



創作



七夕飾り



ぷくぷくほーむ（短期入所・日中一時）

管理者 吉川博

現在、日中一時と短期入所を合わせて5名の定員ですがほとんどの日が一杯となっています。ぷくぷくほ
ーむでの過ごし方に関しては、一人一人の利用者様の個性を理解して、どの様に接したらより快適に過ごすこ
とが出来のかを日々考えながら一日一日を送っています。

ご家族の方からも色々なご意見、アドバイスなどを聞かせていただき、今まで以上に安全で楽しく過ごせる
施設になるよう心掛けていきます。

新型コロナウイルス対策としては、アルコール除菌、手洗い、換気、三密に気を付けて日々対応しています。